

発達障害支援アセスメントツール『MSPA』の 活用状況に関するアンケート調査 集計結果

1 調査の目的

平成30年10月に設置した「北九州市発達障害者支援アセスメントツール研究会」において、『MSPA』を当面の研究対象とすることが方針決定された。

当研究会において、市内における『MSPA』の活用状況等を把握し、事例検討の実施等、今後の施策の基礎資料とするため、市内医療機関（精神科、小児科）、指定障害福祉サービス事業所、相談機関を対象にアンケート調査を実施した。

2 調査対象

精神科病院・診療所（73件）、小児科病院・医院（132件）、
指定障害福祉サービス事業所（459件）、相談機関等（22件） 計 686件

3 調査方法

郵送法（調査対象に対し、「発達障害者支援アセスメントツール『MSPA』の活用状況に関するアンケート調査票」を郵送。

4 調査期間

平成30年12月10日（月）～平成30年12月28日（金）の15日間

5 回収結果

調査対象	配布数	回収数	回収率
精神科（病院・診療所）	73	37	50.7%
小児科（病院・医院）	132	78	59.1%
指定障害福祉サービス事業所	459	174	37.9%
相談機関等	22	22	100.0%
計	686	311	45.3%

6 回収結果の詳細

①医療機関・事業所等におけるMSPA有資格者の有無について

有り 4件（精神科：2病院、小児科2病院）

無し 307件

①-2 「有り」4件における、有資格者の「人数」及び「職種」

調査対象	職種			計
	医師	臨床心理士	精神保健福祉士	
精神科(病院・診療所)	1	8	1	10
小児科(病院・医院)	3	2	0	5
計	4	10	1	15

②活用実績の有無について

有り 3件（精神科：1病院、小児科：2病院）

無し 308件

②-2 「有り」3件における、「活用件数」と「対象者の年齢」

調査対象	活用件数	対象者の年齢
精神科(病院・診療所)	10	18歳～50歳
小児科(病院・医院)	154	3歳～19歳
計	164	—

②-3 MSPAを活用した感想

- とても有用と思う。
- 個々の特性を理解するうえで、大変有用なツールです。
- 特性が分かりやすく、説明しやすい。
- 評価する際には講義を受けるのみでなく、発達障害に対する十分な理解が必要（特にASDに対する）。結果を解釈する際にも、ある程度の発達障害への知識が必要。

③事例検討会に提供できるMSPA活用事例の有無について

有り 3件（精神科：1病院、小児科：2病院）

無し 308件

③-2 「有り」3件における、対象者の「年齢」・「診断名」・「MSPAを活用した目的」

調査対象	年齢	診断名	MSPAを活用した目的
精神科(病院・診療所)	18歳～50歳	ASD要素、適応障害	就労に向けて
小児科(病院・医院)	小児・学童	ASD、ADHD	特性評価のため
	3歳～19歳	ASD、ADHD、LD	診断の補助、支援の参考のため